

第126回(2023年11月度) 監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 豊島 秀一
(文責: 豊島 秀一)

1. 開催日時 2023年11月2日(木) 午後2時00分～午後5時00分
2. 開催方法・場所 会場(文京シビックセンター5階 会議室A・オンライン(ZOOM)併用方式
講師は会場より解説
司会(委員長)は会場で進行
委員は会場で会議サポート
3. テーマ 「ウェルビーイング経営 ～企業価値向上を目指す“深化型”健康経営～」
4. 講師 MS&ADインターリスク総研 主席コンサルタント 森本 真弘氏
5. 出席者 51名(会場参加11名、オンライン参加40名)
6. 配布資料 (事前に委員長から参加申込者に対してメールで参加案内と添付ファイルで
送付・監査懇話会HPに掲載)
第126回監査懇話会監査技術ゼミ
「ウェルビーイング経営 ～企業価値向上を目指す“深化型”健康経営～」
MS&ADインターリスク総研 主席コンサルタント 森本 真弘講師

7. 議事次第

1) 運営委員長より開会の挨拶

オンライン参加者のZOOM接続状況を確認したのち、開会挨拶と
本日のテーマ紹介を行い、講師の森本真弘氏を紹介した。

なお出席者の内、当委員会への初参加者は以下の通り。

㈱光和コンピューター 監査役 中町 英樹氏

㈱アイズ 監査役 浅見 靖則氏

㈱弘電社 取締役常勤監査等委員 永嶋 靖史氏

続いて、監査技術ゼミの趣旨について説明を行った。

監査技術ゼミは、「時宜を得たテーマを設定、その分野の外部講師をお招きして
ゼミナールスタイルで開催していること」と、「質疑応答を通して会員・会友との
意見交換を大切にしていること」を説明した。

今回の監査技術ゼミは、監査役等が経営を診ていく上で重要な事項である「企業の
持続的な成長」につながる「ウェルビーイング経営」をテーマに開催することを説明
した。

2) 講義

午後2時5分より、講師が資料に沿って講演を行い、3時に前半を終了した。
休憩をはさみ、3時10分から、後半の講演が行われ、4時03分に終了した。

3) 質疑応答および意見交換等

講義終了後、4時10分より出席会員会友と質疑応答ならびに意見交換が行われた。
質疑応答および意見交換における項目は以下の通り。

- ・ 付加価値を生み出すためには負担が掛かる仕事も必要であるが、選択と自己決定において自ら選択するかどうか
- ・ 若い世代とのギャップの埋め方について
- ・ 多様性の機能を大切にする環境について
- ・ 好まない仕事と報酬について
- ・ 好まない仕事への人員配置について
- ・ ウェルビーイング経営への転換および促進していくなかでの業績変化への耐力について
- ・ 耐力はどこから生み出していくか
- ・ ギャップ調査の低下の要因として現場感のない方針への社員の不満について
- ・ ベンチャー企業におけるウェルビーイング経営の浸透について
- ・ 社員幸福度の評価について
- ・ S&P Global Ratings やブラックロックにおける投資の評価について
- ・ ディーセントワークとウェルビーイングの関係について
- ・ 幸せという心の状態を会社で実現可能にするための環境設計について
- ・ ウェルビーイング経営が会社業績に貢献していく指標について

以上について、講師から丁寧な応答と意見交換が行われた。

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答および意見交換の後、運営委員長より講師に感謝の意を表した。
また参加者に対しアンケートへの協力要請（後日メールで発信）を行なった。

次回の監査技術ゼミ開催日 2023年12月25日(月)予定と、テーマとして「クロネコヤマトの経営改革」の旨を案内して、午後4時50分に閉会となった。

以上